



平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月6日

上場取引所 東

上場会社名 萩原工業株式会社

コード番号 7856 URL <http://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 邦章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業支援部門長 (氏名) 浅野 和志

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 平成22年9月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第3四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	14,032	1.8	1,368	61.6	1,391	75.7	819	96.4
21年10月期第3四半期	13,790	—	846	—	792	—	417	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第3四半期	136.76	—
21年10月期第3四半期	69.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第3四半期	17,950	9,665	53.8	1,612.13
21年10月期	17,582	9,024	51.3	1,505.19

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 9,664百万円 21年10月期 9,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	12.50	—	12.50	25.00
22年10月期	—	15.00	—		
22年10月期(予想)				15.00	30.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	2.9	1,810	56.1	1,830	66.1	1,060	77.9	176.81

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年10月期3Q	6,000,000株	21年10月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	22年10月期3Q	4,983株	21年10月期	4,883株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年10月期3Q	5,995,063株	21年10月期3Q	5,995,120株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気は着実に持ち直し自律的回復への基盤が整いつつあるものの、失業率も高く、雇用情勢の悪化懸念も依然残っており、海外景気の下振れ懸念、デフレの影響など、景気を下押しするリスクがあるなかで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「事業構造変革の継続と成長戦略仕込へリソース傾注（手堅く守り、要所を攻める）」を社長方針に掲げ、平成24年10月期を最終年度とする新中期経営計画（V-50）の達成に向けて、「生産革新の遂行」、「品質管理システム強化」、「開発製品拡大と戦略製品海外市場拡大」を図るとともに、「連結キャッシュ・フロー経営」、「組織活性化へ目的別人材育成」を重点方針として各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は140億32百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は13億68百万円（前年同四半期は営業利益8億46百万円）、経常利益は13億91百万円（前年同四半期は経常利益7億92百万円）となり、四半期純利益は8億19百万円（前年同四半期は四半期純利益4億17百万円）となりました。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、原料価格の上昇や、外部環境の状況変化が激しいなか、第2四半期に引き続き、生産システムの変革活動によるロス及び固定費の低減に注力してまいりました。海外子会社におきましては、在インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ」の業績は順調に推移しております。一方、在中国の子会社「青島萩原工業有限公司」は急激な賃上げ、人員不足に伴い難しい経営判断を強いられておりますが、概ね計画どおりに推移しております。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、光学系フィルム（偏光板・保護フィルム等）、リチウムイオンセパレーター（自動車向けリチウムイオン電池）の需要拡大を背景に、機能性材料向け各社の設備投資が活発化したことに加え、多様なニーズにも対応できるよう新製品の開発に積極的に取り組み、主力製品であるスリッター関連機器は堅調に推移いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は179億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億68百万円の増加となりました。

資産では、流動資産は受取手形及び売掛金が増加したこと等により5億36百万円増加し、固定資産は投資金額を減価償却費内で推移させたこと等により、1億67百万円減少しました。

負債では、流動負債が未払法人税の増加等により1億8百万円増加し、固定負債は長期借入金の約定返済等により3億80百万円減少しました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、6億40百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績の見通しにつきましては、世界的規模の金融危機の影響を受け、当面、厳しい状況が続くものと思われま。当社グループを取り巻く事業環境につきましても、景気の一層の下振れ懸念、原油価格の変動による合成樹脂原料価格の動向及び為替動向には継続して留意する必要がある、依然として厳しい市場環境が続く状況にあります。平成22年5月24日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,529,394	1,864,021
受取手形及び売掛金	4,880,409	4,330,678
商品及び製品	857,981	784,127
仕掛品	1,448,278	1,260,913
原材料及び貯蔵品	605,562	588,420
その他	700,819	654,540
貸倒引当金	△10,557	△7,037
流動資産合計	10,011,888	9,475,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,148,589	2,169,834
機械装置及び運搬具(純額)	1,759,427	1,831,558
工具、器具及び備品(純額)	124,515	117,941
土地	2,320,831	2,320,831
建設仮勘定	89,480	47,306
有形固定資産合計	6,442,844	6,487,472
無形固定資産		
のれん	44,603	59,404
その他	33,742	40,320
無形固定資産合計	78,345	99,725
投資その他の資産		
保険積立金	1,018,074	1,115,408
その他	432,838	422,645
貸倒引当金	△33,014	△18,529
投資その他の資産合計	1,417,898	1,519,525
固定資産合計	7,939,088	8,106,722
資産合計	17,950,976	17,582,386

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,433,882	2,375,662
短期借入金	1,993,513	2,344,490
未払法人税等	341,820	65,757
賞与引当金	241,345	412,100
製品保証引当金	1,975	24,734
その他	1,349,634	1,031,050
流動負債合計	6,362,171	6,253,796
固定負債		
長期借入金	1,499,569	1,808,898
退職給付引当金	142,534	128,959
役員退職慰労引当金	208,623	302,082
その他	72,936	64,370
固定負債合計	1,923,664	2,304,311
負債合計	8,285,836	8,558,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,008,000	1,008,000
資本剰余金	622,800	622,800
利益剰余金	8,241,276	7,586,260
自己株式	△2,722	△2,629
株主資本合計	9,869,353	9,214,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,425	1,748
繰延ヘッジ損益	△4,603	△2,382
為替換算調整勘定	△198,600	△190,009
評価・換算差額等合計	△204,629	△190,643
少数株主持分	415	491
純資産合計	9,665,140	9,024,279
負債純資産合計	17,950,976	17,582,386

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	13,790,458	14,032,956
売上原価	10,398,248	10,094,707
売上総利益	3,392,209	3,938,248
販売費及び一般管理費	2,545,840	2,570,143
営業利益	846,368	1,368,105
営業外収益		
受取利息	2,375	1,747
受取配当金	1,110	1,226
受取保険金	62,984	102,186
その他	42,005	28,888
営業外収益合計	108,476	134,049
営業外費用		
支払利息	60,228	36,406
売上割引	25,516	22,110
為替差損	54,486	26,372
その他	22,401	25,601
営業外費用合計	162,633	110,491
経常利益	792,211	1,391,663
特別利益		
固定資産売却益	1,811	4,169
特別利益合計	1,811	4,169
特別損失		
固定資産除却損	46,584	3,968
固定資産売却損	147	49
投資有価証券評価損	3,817	824
特別損失合計	50,549	4,843
税金等調整前四半期純利益	743,474	1,390,990
法人税等	326,070	571,037
少数株主利益	—	72
四半期純利益	417,403	819,880

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	743,474	1,390,990
減価償却費	606,229	560,456
のれん償却額	14,801	14,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,224	18,004
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,865	15,149
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,983	△93,458
受取利息及び受取配当金	△3,486	△2,974
支払利息	60,228	36,406
固定資産除売却損益 (△は益)	44,919	△151
売上債権の増減額 (△は増加)	930,171	△716,194
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,085,063	△286,926
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,360,206	95,706
その他	△89,001	57,455
小計	2,055,535	1,089,265
利息及び配当金の受取額	3,491	3,016
利息の支払額	△63,268	△40,659
法人税等の支払額	△641,448	△262,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354,309	789,002
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△28,160	36,730
有形固定資産の取得による支出	△373,320	△436,804
有形固定資産の売却による収入	8,528	6,774
長期貸付金の回収による収入	5,632	9,289
保険積立金の増減額 (△は増加)	△36,885	97,334
その他	△24,912	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,117	△286,692
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△257,656	△252,851
長期借入れによる収入	630,000	408,480
長期借入金の返済による支出	△868,819	△805,078
自己株式の取得による支出	△15	△92
配当金の支払額	△208,489	△163,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△704,982	△813,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△972	14,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	199,238	△297,026
現金及び現金同等物の期首残高	842,464	1,661,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,041,702	1,364,194

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。